DESIGN YEAR 1989 PROJECTS

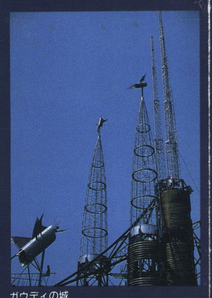
私たちは今、「心」を豊かにする快適で潤いのある生活を求めています。一方、これを支える産業経済も情報化、国際化が進む中で急速な構造変化に直面しています。このような中で、従来にも増して世界にも誇れる「クリエイティブ(創造的)」な活動の展開が、我国に期待されています。まさに、生活と産業のインターフェースであるデザインの可能性が問われているのです。

'89デザインイヤーは、このような認識を踏まえ、「デザイン」を通じて新しい時代における生活と産業、ひいては文化のあり方を国民各分野で問い直そうとする運動です。この「DESIGN YEAR 1989 PROJECTS」は、'89デザインイヤーの主旨に賛同し、全国各地で開催される「'89デザインイヤー参加事業」を紹介するものです。

'89 design year

白鳥会場風景

KAIハサミコンペグランプリ


ガウディの城

アーテック'89:ヤコブ・アガム作品
撮影:大高明

世界のデザインが大集合ー世界デザイン博覧会

今年名古屋では、「ひと・夢・デザイン――都市が奏でるシンフォニー」をテーマに世界初の「世界デザイン博覧会」が、7月15日より11月26日まで開催されています。

この博覧会は、お茶碗から宇宙ステーションに至るまで、広範な分野にわたるデザインを、展示、ショー、アトラクション等の演出で広く一般にアピールするもので、「名古屋城」「白鳥」「名古屋港」の3会場で様々な関連催事と連同しながら都市を舞台とした博覧会として運営されています。各会場のテーマ及び内容構成は以下の通りです。

●名古屋城会場　テーマ：「歴史からの発見」
ガウディ、ダ・ビンチ、千利休、そして現代の巨匠達の「技」と「美」が競演します。また「パチンコ・パチスロ面白デザイン館」や「世界公衆ごみ箱展」(DY42002)もあります。

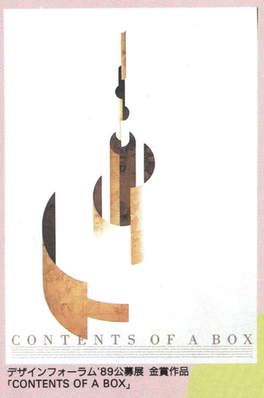
●白鳥会場　テーマ：「21世紀との遭遇」
無給油無着陸で世界一周した米の"ボイジャー"やソ連の宇宙ステーション"ミール"の窮極のデザインが見られるテーマ館や、カーデザインのイロハを紹介するトヨタグループ館、「名古屋国際ビエンナーレ-アーテック'89」(DY41010)のハイテクアート作品を集めたメイテック・中日新聞・CBCパビリオン、「KAI世界ハサミデザインコンペティションNAGOYA'89」(DY43001)の作品も見られる夢集合館、世界のデザインが大集合した外国館など、21世紀へ向けての「デザインの可能性」が発見できます。

●名古屋港会場　テーマ：「楽しさへの旅立ち」
「YATAIデザインコンペ」(DY43002)の作品が楽しめる「ピッ！くじら」をはじめ、JR東海の「リニアステーション」、学生を対象とした「デザインアイ'89コンペ」(DY41005)等の作品が展示される「デザインアイアリーナ」などのパビリオン、他にも「風のサーカス」「サイクルモノレール」等、展示やアトラクションでデザインの楽しさが体験できます。

以上の3会場において約4ヶ月に渡り開催される同博覧会は、単なる一過性のイベントにとどまらず、市内の環境及びネットワークの再整備を進めながら、新たな都市づくりへの大きな起爆剤となっています。そして今後世界へ向けて生活文化を提案・発信するデザインシティ名古屋へと、大きく脱皮することが期待されています。

問い合わせ先：財世界デザイン博覧会協会
TEL.052-202-0100
●DY41002　世界デザイン博覧会

DESIGN PROMOTION


デザインフォーラム'89公募展　金賞作品
「CONTENTS OF A BOX」

'89デザインイヤー松屋

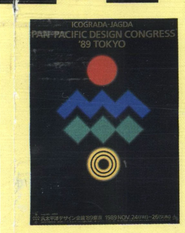
「生活デザイン百貨店」として消費者に対し生活提案を続けてきた㈱松屋は、創業120年を迎える今年、店内の改装と共に、デザイン啓蒙活動を一層拡大・発展させています。銀座店では、8月30日～9月25日の間を「デザインウィーク松屋」と題し、日本デザインコミッティによる「デザインフォーラム'89公募展」、㈳日本クラフトデザイン協会による「'89日本クラフト展」等が開催されます。今後も、デザインコレクション(5月より浅草店にも新設)、デザインギャラリー、クラフトマンハウス等の各コーナーが9月末に新装オープンされる他、㈳日本ジュウリーデザイナー協会による提案展[90年代の予感](10月3～9日　1Fスペースオブギンザ)等の催しが各階において展開される予定です。

問い合わせ先：㈱松屋営業企画部
TEL.03-567-1211
●DY33004 '89デザインイヤー松屋

国際デザインフェスティバル

「生あるもののためのデザイン」を基本概念に、国際的なデザイン事業を行っている財国際デザイン交流協会は、今年で4回目を迎える「国際デザインフェスティバル」を開催しています。このフェスティバルは、「国際デザイン・コンペティション」、「国際デザイン・アワード」、「国際デザイン展」の3つの基幹事業から構成されています。毎回世界中からの注目を浴び今回は「火」をテーマにしたデザインコンペ、そしてデザインアワードの2つの事業は既に審査が終了し、どちらも国際デザイン展の会場にて、優秀作品の展示が行われます。国際デザイン展は、楽しさと創造のエネルギーに満ちた「デザインパラダイスの創出」を目指し、11月17日～26日まで、インテックス大阪を会場に行われるフェスティバルのハイライトとなるイベントです。

問い合わせ先：(財)国際デザイン交流協会
TEL.06-346-2611
●DY51001 第4回国際デザインコンペティション　●DY51002 第4回国際デザインアワード
●DY51003 第4回国際デザイン展


「汎太平洋デザイン会議」ポスター

「日本文化デザイン会議」ポスター

汎太平洋デザイン会議'89東京

㈳日本グラフィックデザイナー協会は、11月24～26日の3日間、環太平洋諸国のグラフィックデザイナーが集まり、政治、経済、言語、宗教等を超えたコミュニケーションについて、その可能性を探る国際会議「汎太平洋デザイン会議'89東京」を開催します。メインテーマは、"コミュニケーション・デザイン、多様性と可能性"で、青山の3会場で行われるセミナー、ワークショップ、パネルディスカッション等を中心に、都内各地で展示会、イベント、ツアー等を同時多発的に開催し、[EXCITING GRAPHIC DESIGNCITY-TOKYO]を演出しながら会議が進められていきます。参加予定国はアメリカ、カナダ、オーストラリア等20ヶ国で、コミュニケーションデザインをテーマに、太平洋海域の異なる言語、文化、生活様式を持つ専門家が集まり、討論する機会はこれまで前例がなく、新たな国際交流の場として各方面から注目されています。

問い合わせ先：汎太平洋デザイン会議事務局
TEL.03-5565-9756
●DY31020 汎太平洋デザイン会議

日本文化デザイン会議'89幕張

'80年代の社会をどのようにデザインするかをテーマに、1980年より(文化デザイン)の視点から問題提起を行ってきた「日本文化デザイン会議」が、今年は10月12、13、14日の3日間、千葉市幕張にオープンする日本コンベンションセンター(幕張メッセ)のトップ催事として開催されます。今回のテーマは"デザイン・ラビリンス"。21世紀へ向けてのデザインを文化、社会、経済それぞれの視点から模索していくという意味が込められています。内容構成としては、メインとなる分科会形式のシンポジウム・スクーリングの他、リレー講演会「私のラビリンス」、JIDC (Japan Inter Design Conference) メッセ[ワークショップ]及び[作品展]、KAGU-'89、ETDA展[表現の現在]等が行われます。

問い合わせ先：日本文化デザイン会議事務局
TEL.03-233-6347
●DY31001 日本文化デザイン会議'89幕張

見えないもののデザイン　国際デザイン・ザ・フューチャー・コンペティション

日本経済新聞社は、「五感＋αのコミュニケーション」をテーマに、高度情報化社会における、先端技術と人間の持っているあらゆる知覚や既存のコミュニケーションを融合させた、より使いやすくより豊かに表現できるツールやシステムを募集する「国際デザイン・ザ・フューチャー・コンペティション」を開催しています。募集部門は、①人とのコミュニケーション②モノとのコミュニケーション③空間とのコミュニケーション④ハンディキャップを支援するコミュニケーションの4部門で、既に審査は行われており、優秀作品(グランプリ・準グランプリ各1点、入賞佳作8点、入選20点)の展示が、10月下旬に世界デザイン博覧会及び世界デザイン会議場内において行われます。また全国主要都市での巡回展も予定されています。新たなコミュニケーションの手法や概念のデザインを発見する契機になりそうです。

問い合わせ先：国際デザイン・ザ・フューチャー・コンペティション事務局　TEL.03-582-1076
●DY33001 国際デザイン・ザ・フューチャー・コンペティション

デザイン・ザ・フューチャーコンペグランプリ作品
視覚障害者のための触知パターン出入力システム

DESIGNING

DESIGN・DESINING

日本工業新聞社と(財)日本産業デザイン振興会は、来年の3月15～17日、東京流通センターにおいて、デザインマネジメントをテーマにした展示会[DESIGN・DESIGNING]を開催します。同展示会は、企業活動の基盤とも言える創造的活動を生みだすためのビジネスツールから、ワーキングスペースを構成するハードシステム及びソフトシステム、さらにそれ自体がソフトウエアであるデザインマネジメントの成果を展示、紹介することにより、企業活動の中でのクリエイティビティのあり方を展望するものです。他にもデザイン・セミナーが開催予定で、デザインを切り口とした新しい見本市として大いに期待されています。参加・出品等については下記迄。

問い合わせ先：日本工業新聞社事業部
TEL.03-292-3561
●DY34002 DESIGN・DESIGNING

毎日新聞社のデザインプロモーション

これまでデザインプロモーション事業に積極的に取り組んできた毎日新聞社は、「青少年デザイン提案コンクール」('89デザインイヤーフォーラムとの共催事業)の他、下記の事業で'89デザインイヤーに参加しています。

●毎日デザイン賞(DY33021)：商業デザイン、工業デザイン両部門で、年間に最も優れた作品を制作、発表したデザイナー、グループまたは団体に贈られる、伝統のあるデザインアオードです。

●毎日広告デザイン賞(DY33022)：昭和初期よりの歴史を持つ広告デザイン賞です。1973年からは「公共福祉広告」部門を新設し、公共福祉広告の普及・発展に大きく寄与しています。応募締切1990年1月17日。

●第一回毎日学生住宅デザインコンペティション(DY33018)：次代を予感する住まいの姿を求めて、既成の概念、制約にとらわれず、より快適で機能的な住宅の提案を広く学生に募集するコンペです。応募締切りは12月中旬予定。

●母と子のセーター・絵と作品コンクール(DY33025)：子供の図案を基に母親がセーターを編むことを通じて、母と子の対話を促す事業。応募締切りは1990年1月。

この他、毎日ファッション大賞(DY33027)、都市対抗野球大会シンボルマーク、マスコットマークコンテスト(DY33026)、現代宝飾デザイン展(DY33024)、全日本学生児童発明くふう展(DY33023)等の事業が実施されています。

問い合わせ先：毎日新聞社広告局開発企画部
TEL.03-212-3322

都市対抗野球新シンボルマーク

幕張に世界のカーデザインが大集合

THE 28TH TOKYO MOTOR SHOW

この秋オープンする千葉市幕張の日本コンベンションセンター(幕張メッセ)において、2年に1度、恒例の東京モーターショー(主催・㈳自動車工業振興会)が開催されます。今年も、世界14ケ国315社の参加があり、日頃、我々が目にすることのできないプロトタイプのデザインをはじめ様々なカーデザインが一堂に会し、約130万人以上の人出でにぎわうことでしょう。デザインイヤーにあたる今年は、展示の他にもカーデザイン・セミナーも企画されており、カーデザインを一般の方々にも知っていただく良い機会になるのではないでしょうか。

問い合わせ先：㈳自動車工業振興会
TEL.03-211-8731
●DY31045 第28回東京モーターショー

INTERNATIONAL URBAN INFRA-TECH '89

国際アーバンインフラ・テック'89

「豊かな都市社会の構築を目指して」をテーマに、「都市社会の基盤と技術」に焦点をあてた総合展会「国際アーバンインフラ・テック'89」(主催：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議)が、11月13～19日、千葉市幕張の日本コンベンションセンター(幕張メッセ)で開催されます。展示は、ジオフロント(地下空間)、モビリティフロント、アメニティフロント、パブリックフロント、ウォーターフロント等6分野で構成され、各々の技術や機器、システム等が紹介されますが、そこには、パブリックデザインを始め、交通デザイン、情報システムデザイン、リゾートデザイン等新たな分野でのデザインが展開されるものと思われます。今後の都市社会づくりでのデザインの役割と重要性が大きくクローズアップされる機会となるのではないでしょうか。

問い合わせ先：アーバンインフラ・テクノロジー推進会議事務局　TEL.03-664-3603
●DY31019 国際アーバンインフラ・テック'89

国際ジュニアデザインコンペティション

財美育文化協会と財日本産業デザイン振興会は、こどもたちから(あすの暮らしのデザイン画)を募集する「国際ジュニアデザインコンペティション」を行います。デザインを通じて生活・産業・文化のあり方を見直そうとするデザインイヤーの趣旨に沿い、こどもの視点から、新しいアイデアに基づくデザインの発掘を目的としています。テーマは、ステーショナリーや身の回りの用具類及び、ポスター・マーク・本の表紙等のデザインです。対象は、中学生(国外では、13歳～15歳)で、締切りが12月21日、1990年3月上旬読売新聞紙上にて、発表を行います。作品展示は1990年3月25日～4月2日、青山、こどもの城において行われます。子供の発想は、自由で無限です。大いに、期待の寄せられるデザインコンペです。

問い合わせ先：財美育文化協会JDC係
TEL.03-252-3041
●DY31013 第1回国際ジュニアデザインコンペティション

CONTENTS OF A BOX

デザイン・ザ・フューチャーコンペグランプリ作品
視覚障害者のための触知パターン出入力システム

かたちの新風景ー情報化時代のデザイン世界デザイン会議　ICSID'89NAGOYA

デザイン会議としては、世界で最も大規模で広範な内容について討議する「世界デザイン会議ーICSID'89NAGOYA」が、10月18～21日、名古屋・世界デザイン博覧会会場白鳥センチュリープラザ他において開催されます。

1973年の京都会議開催以来、日本では2度目となる今回の会議には、海外からの1000人近い参加者を含め世界中から英知が集まり、20世紀の世界と日本のデザインを総括し、来たるべき90年代、さらに21世紀に向けて新たなるデザインのヴィジョンとパラダイムを探求します。プログラムとしては、ライワル・ワトソン氏、磯崎新氏の講演に続き、「デザインのデザイン」「デザインを挑発」など7つのプラネットのもと、30にのぼる分科会で120人以上のパネリストによる会議が進められます。また、これらのディスカッションだけでなく、参加者が自由にデザイン提案ができる「パーソナルプレゼンテーション」や各種のデザイン展示の他「エクスカーション」「デザインキャンパス」等が企画されています。中でも一般市民向けの催事として企画された「世界のグレートデザイン展」(10月17～22日　愛知県美術館)は、20世紀のデザインを歴史的にふりかえるとともに、21世紀を展望する新しいデザインの動向をデザイナーの作品や製品を通じて紹介するもので、見ごたえのある展示内容になるものと思われます。

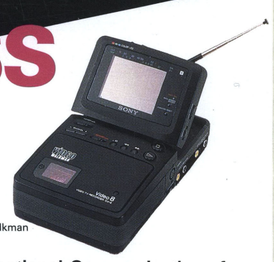
世界デザイン会議 ICSID'89 NAGOYA

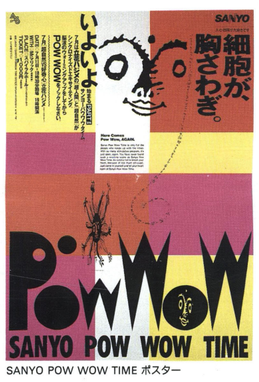
このように、今回の会議の特色として、デザイナーだけによる専門会議にとどまらず、広く市民の参加を得、またその内容も、経営とデザイン、都市とデザイン、遊びとデザインなど広範にわたり各分野の専門家が参加していることがあげられ、21世紀へ向けて生活、社会、環境などあらゆる面でのデザインの役割とその可能性が議論されることになると思われます。

'89デザインイヤーの中核的事業の本会議が、90年代のデザインムーブメントを始動させる震源地となるでしょう。

問い合わせ先：世界デザイン会議運営会事務局
TEL.052-202-1100
●DY41001 世界デザイン会議

DESIGN & BUSINESS


SONY Videowalkman


SANYO POW WOW TIME ポスター

SANYO POW WOW TIME

三洋電機株は、首都圏における同社のイメージアップ作戦の一環として、今年の7月から毎月1回、青山スパイラルホールにおいてイベント&トークステージ "SANYO POW WOW TIME" を開催しています。このイベントは昨年も開催され好評を博したもので、今回はPartⅡとして「細胞が、胸騒ぎ。」をテーマに、中川比佐子をサビゲーターに、四谷シモン、中島らも、毛利臣男等12名のゲストディレクターを迎えて「ワクワク、ドキドキ」するステージを展開しています。同社の狙いとしては、若者とのコミュニケーションを図りながら、様々の情報を発信することにより、「文化活動を積極的に支援する会社」「おもしろい会社」としてのイメージを定着させようとするところにあります。この事業は、スポンサー型から自主イベント型プロモーションへと変化した、新たなCI戦略として各方面から注目されています。このイベントの他にも同社では、「人と地球が大好きです。」をテーマにした「サンヨーポスターデザイン大賞」を開催しています。締切りは9月29日。発表は12月に予定されている展示会で行われます。

問い合わせ先：三洋電機株東京宣伝部
TEL.03-837-6234
●DY53003 SANYO POW WOW TIME
●DY53007 サンヨーポスターデザイン賞

TRIAD Design Project

アメリカのデザイン・マネジメント・インスティテュート(DMI)とハーバード・ビジネス・スクールは長期間においてデザイン・マネジメントを研究・分析する[TRIAD Design Project]を開催します。皮切りとなる今年は、アメリカ、ヨーロッパ、日本の各地域のデザイン開発事例を展示し、各々についてケーススタディを行います。会場・スケジュールは、六本木・AXISギャラリー10月6日～19日、富山インダストリアルデザインセンター10月下旬、世界デザイン博白鳥会館ホール11月14日～11月26日で、ケーススタディにはBraun社、Philips社、ERCO社、シャープ、キヤノン等が予定されています。同展示会は、国際化の中で活動を求められている日本企業にとって、より大きな視野に立ち経営とデザインを考える大きな契機となるものと思われます。

問い合わせ先：㈶日本産業デザイン振興会
TEL.03-435-5633
●DY91001 The TRIAD Design Project

International Communication of SONY DESIGN

今年、ウォークマン誕生から10周年を迎えるソニー㈱は、世界中の学生を対象に(A)ウォークマンと、(B)ビデオウォークマンの、デザインを募集する「ソニー国際学生デザインコンペティション」を開催します。既に応募作品は7月31日をもって締切られ、(A)、(B)各、特選1席、(他入選を含め、10点)を、10月に東京で行われる表彰式にむけて選考中です。また、このコンペティションを通じ、各国有名デザイナーによる学生のためのシンポジウム「Design Vision」ーデザイン学生へのメッセージーが、9月6日、品川・コクヨホールにて開催されます。この2つの事業により、全世界の若者のデザインの国際的交流の活発化が図られる契機となりそうです。

問い合わせ先：ソニー株式会社クリエイティブ本部デザインセンター　TEL.03-448-2438
●DY33009 ソニー国際学生デザインコンペティション　●DY33043 Design Vision

ニュー・オフィス・デザイン

通産省の推進するニューオフィス運動を受けて、新たなオフィス空間を模索する各オフィス関連メーカーのデザイン・プロジェクトが、デザインイヤーを機に展開されています。

まずコクヨ㈱が、新たなオフィス文化の創造をテーマに、①シンポジウム、②リノベーションフェア、③情報誌「ECIFFO」の発刊の3事業を展開。企業イメージの構築を推進しています。第1回目のシンポジウムは、今年1月に、マリオ・ベリーニ、喜多俊之、柏木博の3氏を迎えて開催されました。今後は、第2回シンポジウムが10月18日、コクヨホール(品川)において、北矢行男(経営評論家)、北川原温(建築家)、パオロ・パルッコ(デザイナー)の3氏を迎えて行われます。

オカムラ オフィス家具「ネーベスク」

ITOKI オフィスなんでもデザイン募集

コクヨ オフィス研究所

また、㈱イトーキは創立100周年事業として一般公募事業「オフィスなんでもデザイン募集」やシンポジウム等により一般プロモーション及びCI推進を展開しています。募集の締切りは10月16日、発表は11月の予定。一方、㈱岡村製作所は、木村戦太郎「ネーベスク」デザイン発表会('89.9.25～26)、アラン・カレのデザインコンセプト('89.11.29～30)、シド・ミードの世界('90.1.19～21)等のデザイン展を開催し、デザイン開発のPR、啓蒙を推進する予定です。これらオフィス関連企業は、今後もその活動を拡大・発展させ、快適なオフィス環境を目指すだけでなく新たなオフィス市場の形成を図りながら、将来への企業ビジョンを追求していくものと考えられます。

問い合わせ先：コクヨ㈱オフィス研究所 TEL.03-450-5735　㈱イトーキCI推進室宣伝課
TEL.03-566-5220㈱岡村製作所販売促進部
TEL.03-593-5610
●DY33003 コクヨ・ニューオフィス文化創造
●DY33032 オフィスライフデザイン'89
●DY33044 ニューオフィスデザインフォーラム

JR東日本のデザイン戦略

東京駅でのイベント、新宿駅等のサイン計画など積極的な活動が目立つJR東日本が、デザインイヤー期間中に[世界鉄道デザイン会議][御茶ノ水駅公開プロポーザルデザインコンペティション]の2事業を展開します。

[世界鉄道デザイン会議]は、"鉄道の再生とデザイン"というテーマのもとに、10月23日～25日、東京ステーションギャラリー及びホテルメトロポリタンにおいて開催されますが、運輸サービス業の競争激化が進行し、世界各国で「魅力的な交通手段としての鉄道」を追求する車輌デザインやソフトプログラムが開発されている中、それらの事例を交じえて、将来の鉄道サービスにおけるデザイン、クォリティの追求、鉄道経営のあり方を探ることを主旨として行われます。また、[御茶ノ水駅～コンペティション]は、9月1日で締切られ10月に審査発表される予定ですが、駅の機能またその価値が、単なる乗降地点としてのものからどれだけ可能性があるのか非常に注目されています。

このようにJR東日本では、鉄道、車輌、そして駅を1つの社会システムとして捉え、そこで生まれる情報やコミュニケーションの中でどのようなビジネスチャンスが存在するのかを探り始めており、まさしくJR東日本の経営におけるデザイン戦略が胎動し始めたと言えるのではないでしょうか。

問い合わせ先：JR東日本総合企画本部国際課及び御茶ノ水駅コンペ事務局
TEL.03-215-5091、03-240-9604
●DY33016 世界鉄道デザイン会議
●DY33015 御茶ノ水駅公開プロポーザル・デザイン・コンペティション

JR御茶ノ水駅

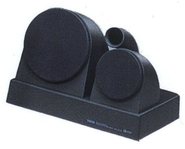
ヤマハ A.S.T.オーディオデザインコンペティション

ヤマハ㈱は、独自のスピーカーシステム「アクティブ・サーボテクノロジィ(A.S.T.)」を利用したスピーカー、オーディオシステムのデザインコンペティションを開催しています。

従来、スピーカーシステムのデザインは最も制約のあるものでしたが、A.S.T.の導入により、小型化が可能になり、形状の自由度が高くなりました。今回のコンペは、この特長を生かした、自由な発想からの作品を募集するデザインコンペです。既に募集は8月31日に締切られ、優秀作品の展示が、12月6日から9日まで、六本木AXISギャラリーにおいて行われる予定です。

問い合わせ先：ヤマハA.S.T.国際デザインコンペティション運営事務局　TEL.03-544-7456
●DY33036 ヤマハA.S.T.オーディオシステム 国際デザインコンペティション

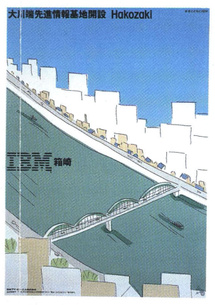
AST採用のミニコンポ[AST-C-30]



IBMデザインフォーラム

日本IBM㈱は、国際都市東京のウォーターフロントに建てられた箱崎ニューオフィスをメインサイトに「IBMデザイン・フォーラム"箱崎に新しい歌が聴える"」を実施しています。この事業は、デザインを通じて、産業界、学界、文化界とのコミュニケーション、地域社会との融和を図るもので、新たなデザイン文化と街づくりへの貢献を目指しています。第1回デザインフォーラムは、去る6月25日に開催され、第2回は、11月に開催されます。尚、希望者は、数名集まり次第、事前連絡の上で、箱崎ビルを見学することができます。

問い合わせ先：日本IBM㈱外事部門
TEL.03-586-1111(内3265)
●DY33065 "箱崎に新しい歌が聴える"ーIBMデザインフォーラム


大川端先進情報基地開設 Hakozaki
IBM 箱崎

Applying Science for Amenity and Intelligence 展

生活にA&Iー松下電工

「A&I(アメニティ・アンド・インテリジェンス)快適を科学します」をスローガンに掲げる松下電工㈱は、「快適とは」を具体的に展示する「アメニティ・アンド・インテリジェンス展」を9月11日～16日、東京・晴海の国際見本市会場A館で開催します。また、これと並行して、商品という枠を超えた約60点のあかりの造形展、ライティング・グラフィティ'89「光のアート展」も行われます。外国展(西独、'89年3月・4月)が既に日本に先がけて行われ、好評のうちに幕を閉じましたが、日本では、10月25日～30日に大阪の大丸ミュージアムで行われる大阪展、東京の池袋西武で11月12日～22日に行われる東京展が期待されます。この他にも、照明文化の向上や店舗業界の発展を狙った「Nashopライティングコンテスト'89」(応募期間：9月1日～12月31日、表彰：1990年3月下旬)が開かれます。

問い合わせ先：松下電工㈱電機企画室、デザイン部　TEL.06-908-1131、06-908-0102
●DY53001 アメニティ・アンド・インテリジェンス展　●DY53002 ライティング・グラフィティ'89「光のアート展」　●DY53008 Nashopライティングコンテスト'89

REGIONAL DESIGN

北の工芸拠点都市盛岡をめざして

今年、市制100周年を迎えた岩手県盛岡市は、その節目において、地域古来の風土から生まれた「工芸」に着目し、「ジャパン・クラフト・フェスティバル・イン盛岡」を開催します。この事業は、10月7日～15日の9日間、盛岡市内の3会場において、あらゆる角度から伝統工芸を見直し、これからのクラフトのあり方と地域アイデンティティについて考えていこうとするもので、詳細は以下の通りです。①第1会場：盛岡手づくり村(10月7日～15日)ー暮らしの工芸デザイン展、工芸村フォーラム、岩手クラフトデザインコンペ、イベント(製作体験や郷土芸能)等。②第2会場：バルク・アベニュー・カワトク(10月10日～15日)ー日本と海外のクラフト展。③第3会場：バルク・アベニュー・カワトク(10月10日)ークラフト・シンポジウム(講演、パネルディスカッション、パーティー)。

イベント期間中はまさに街全体がクラフト祭り一色となり、北の工芸拠点都市、盛岡としての大きな出発点となりそうです。

問い合わせ先：ジャパン・クラフト・フェスティバル・イン盛岡実行委員会　TEL.0196-51-4111
●DY21005 ジャパン・クラフト・フェスティバル・イン盛岡

国際デザインポリス石川

石川県は、平成元年度を「石川デザインイヤー」として位置づけ、各種デザイン振興事業を展開しています。イベントとしては、①'89ジャパンデザインコンペティション石川(DY41016)、②第2回国際デザイン交流展(DY41015)、③海外デザイン振興機関友好交流促進事業(DY41017：西ドイツ・シュツットガルトデザインセンターとの様々な交流活動)、④デザイン・リレー石川(DY41018：県内のデザイン関連事業のシリーズ展開)等が挙げられます。その中でも中心的な位置を占めているのが、①のコンペと②の交流展です。①は輪島塗りで有名な石川の風土を生かしたコンペで、漆や塗料が施されている作品を募集し(既に7月に締切り)、大賞他4賞25点を選出する(9月中旬発表)というものです。その入選作の展覧会及び、世界・日本のグッドデザインや企業・デザイナーからのメッセージ等計1500点の作品展示が行われるのが②の交流展(11月2日～5日、石川県産業展示館にて開催)です。主催者サイドは、これらの作品の展示を通して、デザインによる産業の活性化、国際交流の促進、及び県民文化の向上に大きな期待を寄せており、石川県が国際的なデザインの集積都市となる契機につながることを望んでいます。

問い合わせ先：㈶石川県デザインセンター
TEL.0762-67-0365

デザイン・サミット開かれるー北海道デザイン交流フォーラム

8月30日～31日にかけ、京王プラザホテル札幌において「北海道デザイン交流フォーラム」(同実行委員会主催)が開催されます。このフォーラムは、道内各業界関係者が産業デザインという共通テーマのもとに集まり、今後、北海道のあらゆる産業におけるデザイン開発にむけて幅広い交流のパイプをつくる目的で行われるものです。内容は、①講演会、②インダストリアル、クラフト、ファッション、パッケージ、建築・環境のデザイン分野における分科会、③交流会、④デザイン・サミットの4つのプログラムで催されます。特にサミットは、富山県・神奈川県・熊本県・北海道の知事と名古屋市長(世界デザイン博会場よりTV中継)が、「デザイン振興」という1つのテーマの下に集まるという、今までに前例のない会議で、これからの地域におけるグランドデザインを行政が考えていく上での1つの契機になるものと思われます。同委員会では、このフォーラムが、デザインをキーワードに、環境産業をはじめ、製造業、流通・サービス業、さらにはまちづくりに至るまで、道内の各産業と生活・文化の今後を展望する機会になるものと期待しています。

問い合わせ先：北海道デザイン交流フォーラム実行委員会　TEL.011-271-5584
●DY11008 北海道デザイン交流フォーラム

「ジャパンデザインコンペ」ポスター

ダイアン・バーネイ デザイン

新都庁舎完成予想図

富山県の地域イメージ戦略

富山県では同県のイメージアップとアイデンティティ確立のため、「内側の目」、「外側の目」という視点から下記の2つの事業を展開しています。

①富山県コロンブス計画ー富山県は、新しい県のグランドデザインを県民自らの手によって創りあげていくシステムの構築を目的に様々なグループのネットワーク化を狙うティーチイン(自由な討論会、現在まで8回実施)と、イベントシナリオコンペティション(9月8日締切り)の2つの参加型イベントを開催しています。

②TOYAMA NOW IN原宿ー4月3日から1週間、原宿駅、表参道をチューリップで飾りました。このイベントも、富山のイメージアップを全国に向け発信することを目的にしたもので、新聞、TVなどで知り訪れた人も多く新しい地域イメージアップの手段として反響がありました。今後、注目したい富山県です。

問い合わせ先：富山県コロンブス計画事務局
TEL.0764-41-2100
●DY42009 富山県コロンブス計画
●DY42007 TOYAMA NOW IN原宿'89

美濃を世界の陶都へー国際陶磁器フェスティバル

岐阜県美濃地方は、日本にとどまらず世界の陶都として発展しつつあります。この美濃において、これからの陶磁器産業と文化の発展を目的に「国際陶磁器フェスティバル美濃'89」が開催されます。この事業の一環として行われる「国際陶磁器コンペティション」では、陶磁器デザイン部門と陶芸部門の2部門において優れた作品に、それぞれグランプリの他各賞が贈られます。作品応募は既に4月30日で締切られており、10月22日の表彰式、10月22日～11月5日に多治見市総合体育館他で行われる展覧会にむけて、国内・海外の著名デザイナー各7名により審査が行われています。このコンペティションを中心に、「国際陶磁器デザインシンポジウム」9月8日、「国際陶芸フォーラム美濃」9月9日等、数々のイベントが開催されます。

問い合わせ先：国際陶磁器フェスティバル美濃'89開催委員会　TEL.0572-22-1111
●DY41003 国際陶磁器フェスティバル美濃'89

国際テキスタイルコンペティション'89京都

西陣・友禅など、日本において古来から染織文化が定着する京都で、国際的なコンペティションが開催されます。題して、「国際テキスタイルコンペティション'89京都」。11月7日～19日に京都美術館で行われる、入選・入賞作品展覧会にむけて、審査が行われています。入選作品の中から特に優れた作品には、ITF大賞他7賞9点が贈られることになっており、これからの京都における染織業界の高度化と国際化を、大いに促進させる事業になりそうです。

問い合わせ先：西陣織工業組合振興課
TEL.075-432-6131
●DY51006 国際テキスタイルコンペティション'89京都

イザベル・トリード デザイン

「創造都市とくしま」へのグランドデザイン

徳島市は市制100周年記念事業「藍と水と情熱の祭典」の一環として「藍のニューヨークファッションプレゼンテーション」を開催しています。この事業は、徳島の伝統工芸品である「藍」を題材に広く世界に徳島の伝統・文化を紹介しようとするもので、下記の3つの事業で構成されています。

①藍のニューヨークファッションショー
伝統素材の藍を使ったファッションデザインをニューヨークで活躍する気鋭のデザイナー5人に依頼し、その作品を東京と徳島で発表します。
スケジュールは、
東京：1989年9月6日　原宿クエスト
徳島：1989年9月10日徳島市立文化センター

②藍のデザインコンクール
藍を素材としたデザインを一般公募するコンクール。既に入賞作品は決定し、展示、発表会が都内及び徳島市において開催されました。

③とくしまフォーラム
「伝統と未来の融合」「変わる徳島とその未来」をテーマにシンポジウムを東京と徳島で開催し、藍の今後の方向性と「魅力あふれる創造都市とくしま」ビジョンの具現化を模索するものです。
スケジュールは、
東京：1989年9月5日　原宿クエスト
徳島：1989年9月9日　徳島県教育会館

この3事業からなる「藍のニューヨークファッションプレゼンテーション」の特徴・目的は、単なる市制100周年を記念したイベントではないところにあると言えます。それは一言で「ネットワークの構築」と言えるのではないでしょうか。地場産品である藍の流通ネットワーク、ファッションの最先端であるニューヨークとのソフトウエアのネットワーク、そして全世界に対する情報のネットワーク等々、これらのネットワークをイベントを通じて構築することにより、伝統・文化都市徳島のアイデンティテイを再確認し、「魅力あふれる創造都市」としての地域ビジョンを明確にしようとすることに大きなポイントがあると言えます。

この市をあげて展開されている地域活性化プロジェクトは、グローバリゼーションの中で地域の新たな方向性を生みだす非常に優れたグランドデザイン戦略の1つであると言えるのではないでしょうか。

問い合わせ先：徳島市市制100周年事業推進課内藍と水と情熱の祭典実行委員会
TEL.0886-21-5178
●DY71001 藍のニューヨークファッションプレゼンテーション

時代をデザインする時代へ。

デザインは今や、モノの形や色だけに関わるものではなくなりました。私たちをとりまくすべてのもの。例えば環境やライフスタイル、産業や情報やシステム、さらには文化に至るまで、
あらゆるものを美しく構築することが、デザインの役割になりつつあります。デザインはいわば、人間の幸せを創造するコミュニケーション・エネルギー。
その新しい概念のもとにくりひろげられる「'89デザインイヤー」は、まさに来るべき21世紀をデザインする第一歩といえるのです。

'89デザインイヤー／期間＝1989年4月1日ー1990年3月31日

主催＝'89デザインイヤーフォーラム／後援＝通商産業省、建設省、運輸省、外務省、文化庁／問合わせ先＝'89デザインイヤーフォーラム事務局・財団法人日本産業デザイン振興会
東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル別館4F TEL.03-435-5626. 5627

'89デザインイヤー参加事業
(1989年8月1日現在)

■JIDAおもしろ展
㈳日本インダストリアルデザイナー協会関西事業支部
1989年3月27日～4月1日／大阪市
06(262)5664
■デザインイヤー地域フォーラム
世界デザイン会議運営会・㈳日本インダストリアルデザイナー協会／1989年4月1日／全国
052(202)1100
■ウイリアム・モリス展
㈱伊勢丹
1989年3月2日～4月6日／東京都
03(356)4005
■コミュニケーションTOKYO'89電話機絵文字(CES-D2)PR展示／通信機械工業会デザイン委員会
1989年4月3日～6日
03(231)3156
■'89ジャパンパッケージングコンペティション
㈳日本印刷産業連合会
1989年4月5日～7日／東京都
03(805)1784
■新潟グッドデザイン商品展
新潟県産業デザイン振興会
1989年3月16日～4月8日／新潟市
025(244)9168
■TOYAMA NOW in 原宿 '89
富山県
1989年4月3日～9日／東京都
0764(41)2100
■第33回新作博多帯及び第40回新作博多人形展
福岡市
1989年4月3日～9日／東京都
092(441)2070
■SDA IN KAKEGAWA「明日のサイン、掛川の町づくり」
日本サイン・デザイン協会
1989年4月13日／掛川市
03(815)8537
■朝日デザインフォーラム
朝日新聞社
1989年4月17日／東京都
03(545)0131
■錦江市立インダストリアルデザイン講座1988年度生終了制作展／錦江市
1989年4月14日～19日／錦江市
0778(51)2200
■DESIGNER'S SATURDAY IN TOKYO '89
インテリア産業海外法人日本協議会
1989年4月20日～22日／東京都
03(499)0541
■ARFLEX歴代モデル展
㈱アルフレックス・ジャパン
1989年4月20日～22日／東京都
03(406)8755
■'89デザインイヤー記念フォーラム
㈱テルサ日本海ガス
1989年4月22日／富山市
0764(25)2525
■TRADE WIND '89
㈳東京国際見本市協会
1989年4月18日～23日／東京都
03(531)3371
■「たて組ヨコ組」セミナー
㈱モリサワ
1989年4月28日他／東京都他
03(267)1231
■南港ポートタウン東駅連絡歩道橋(仮称)架設事業
大阪市
1987年9月～1989年4月／大阪市
06(572)5121
■第12回東京国際グッドリビングショー
㈳東京国際見本市協会
1989年4月28日～5月3日／東京都
03(531)3371
■KAGU Designer's Week in Osaka
KAGU デザイナーズ ウイーク・イン 大阪実行委員会
1989年4月29日～5月14日／大阪市
06(361)1381
■第86回九州山口陶磁展
佐賀県
1989年4月29日～5月14日／佐賀県
0955(43)2101
■日本デザイン学会第10回春季大会
日本デザイン学会
1989年5月20日／千葉市
0472(51)1111
■'89オホーツク「木」のフェスティバル
'89オホーツク「木」のフェスティバル実行委員会
1989年5月19日～21日／北見市
0157(31)2705
■うちわデザインコンクール
香川県うちわ協同組合連合会・丸亀市
1989年2月1日～5月21日／丸亀市
0877(23)2111
■DESIGN, JUST NOW
東京デザイナーズ・スペース
1989年5月15日～22日／東京都
03(587)2007
■青蘭書品展
学書院
1989年5月22日～5月26日／東京都
03(561)5050
■「みちのく・クラフト新紀行」ー青森・秋田・岩手・宮城県の現場からー／財熊本県伝統工芸館
1989年5月23日～28日／熊本県
096(324)4930
■パッケージデザイナーによる「'89自遊BOX展」
㈳日本パッケージデザイン協会
1989年4月～5月／東京都他
03(815)3458
■アーティスティック・インプレッション4
㈱アルス
1989年5月27日～6月1日／東京都
03(815)2561
■第68・69回ビジネスショウ
㈳日本経営協会
1989年5月17日～20日、6月1日～3日／東京都他
03(403)1331
■1989年度JAGDA IN FUKUOKA
㈳日本グラフィックデザイナー協会
1989年5月20日～6月4日／福岡市
03(404)2557
■dda ディスプレイデザイン年賞'89
dda 日本ディスプレイデザイン協会
1989年4月1日～6月5日／東京都
03(543)5248
■「現代デザインの水脈ーウルム造形大学」展
武蔵野美術大学
1989年5月26日～6月5日／東京都
0423(41)5011
■デザインコンペティション'89ふくやま
福山地方産業デザイン振興協会
1989年6月9日／福山市
0849(21)2345
■'89生活デザイン国際シンポジウム
下関女子短期大学
1989年6月7日～9日／下関市
0832(23)0338
■'89おもちゃコンクール
㈳日本玩具協会
1989年5月15日～6月18日／東京都
03(829)2513
■イタリアン・ネオ・モダン
ふくやま美術館
1989年5月20日～6月18日／福山市
0849(32)2345
■「デザイン教育事典」刊行
㈱鳳山社
1989年6月／東京都
03(262)5308
■第21回毎日・DAS学生デザイン賞
㈳総合デザイナー協会
1988年12月～1989年6月／大阪市
06(341)5895
■世界インダストリアルデザイン展
読売新聞社・ドイツ建築博物館
1989年6月23日～7月2日／東京都他
03(242)1111
■ジュエリーデザインエキジビションヤマナシ
ジュエリーデザインエキジビションヤマナシ実行委員会
1989年6月22日～7月2日／甲府市
0552(37)1111

■'89屋外広告ビッグフェアー
近畿屋外広告美術組合連合会
1989年7月7日～9日／大阪市
06(762)9357
■サッポロコレクション'89～'90
ファッションタウン・さっぽろ推進協議会
1989年7月10日～12日／札幌市
011(231)1122
■ヒューマン・デザイニング・フォーラム
戸田建設㈱
1989年7月12日／東京都
03(535)1395
■なにわグラフ'89
大阪府立産業デザイン研究センター・㈳大阪府技術協会
1989年7月14日／大阪市
06(281)0327
■WORLD LIGHT SHOW '89
MESAGOジャパン㈱
1989年7月13日～15日／東京都
03(263)0887
■巨匠たちの心と形 デンマーク150脚の椅子展
シンコール㈱
1989年7月12日～16日／名古屋市
052(363)1441
■福岡デザインセミナー
福岡デザインセミナー実行委員会
1989年7月19日／福岡市
092(711)4373
■第2回日本デザイン学会主催セミナー
日本デザイン学会
1989年7月20日／東京都
0472(51)1111
■第19回機械工業デザイン賞
日刊工業新聞社
1989年2月1日～7月20日／東京都
03(222)7110
■ビギーズ体験フォーラム'89
東京製革業産地振興協議会
1989年7月20日／東京都
03(212)5111
■機械工業デザインシンポジウム・パネル展
日刊工業新聞社
1989年7月21日／東京都
03(222)7113
■国際デザイン・コンペンション'89岐阜
㈶国際デザイン交流協会
1989年7月21日／岐阜市
06(346)2611
■工業技術連絡会議製品化学連合部会第51回デザイン分科会／工業技術連絡会議製品科学連合部会デザイン分科会／1989年7月20日～21日／福山市
0849(31)2400
■デザインセミナー
岐阜県繊維デザイン協会
1989年7月3日／岐阜市
05838(8)351
■THE POSTER1ー時代を見せる25人のポスターデザイン
THE POSTER1実行委員会
1989年7月18日～25日／名古屋市他
052(936)3459
■天神パルカ〈DESIGN SYMPOSIUM IN OSAKA〉
天神パルカ実行委員会
1989年7月24日～25日／大阪府
06(357)1058
■平成元年度装身具デザイン講座
山梨県工業技術センター
1989年5月17日～7月27日／山梨県
0552(33)0211
■国際デザイン・コンペンション'89青森
㈶国際デザイン交流協会
1989年7月28日／青森市
06(346)2611
■アジア学生交流クラフトワークショップ
多摩美術大学立体デザイン科
1989年7月25～29日／東京都
0426(76)8611
■'89木の日のフェスティバル
'89木の日のフェスティバル実行委員会
1989年7月29日～30日／帯広市
0155(25)7121
■国際デザインコンペティション入賞作品展
㈶国際デザイン交流協会
1989年7月、8月／青森市、岐阜市
06(346)2611
■'89アトリエ・ヌーボーコンペ展
㈱西武百貨店
1988年10月～1989年7月／東京都
03(981)0111
■富士Q-ARTデザインコンテスト
富士写真フイルム㈱
1988年10月1日～1989年7月31日／東京都
03(406)2728
■都市対抗野球新シンボルマーク募集
毎日新聞社
1989年4月1日～7月31日／東京都
03(212)0193
■CONQUEROR CORPORATE STATIONERY DESIGN COMPETITION '89／㈱ヤマト
1989年4月～7月／東京都
03(297)4391
■デザインセミナー
松本市
1989年7月／松本市
0263(34)3000
■ふくい・パルセロナファッションフェア'89
ふくいファッションイベント実行委員会
1989年7月／福井県
0776(21)1111
■第2回コイズミ国際学生照明デザインコンペ
小泉産業㈱
1988年11月10日～1989年7月31日／大阪市
06(262)0863
■クラフト展'89島根
クラフト展'89島根実行委員会
1989年7月16日～25日、7月29日～31日／島根県
0853(72)0538
■光のデザイン展
名古屋市
1989年8月3日～9日／名古屋市
052(961)1111
■'89世界デザイン博覧会・建築デザイン競技
㈶愛知建築士会
1988年12月1日～1989年8月10日／名古屋市
052(261)1451
■建築デザイン「人と建築展ー建築それは夢の創造」
㈶愛知建築士会
1989年7月29日～8月10日／名古屋市
052(261)1451
■ビジョンPR「アジアは一つ…その平和のために」
㈶愛知建築士会
1989年7月29日～8月10日
052(261)1451
■ヤアコブ・アガム展
㈱伊勢丹
1989年7月27日～8月22日／東京都
03(356)4005
■デザインセミナー
滋賀県繊維工業指導所
1989年8月23日／滋賀県
0748(42)0017
■'89オールジャパンギフトフェスティバル東京
㈶全日本ギフト用品協会
1989年8月22日～24日／東京都
03(847)0691